

# 化学療法治療レジメン

申請書  
計画書

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉 → 〈化学療法委員会〉

〈主治医〉 → 〈薬剤部〉

芳珠記念病院化学療法委員会

治療レジメン名：	乳腺-17 テセントリク+nabPAC	総投与時間：約100-130分
申請医：井口 雅史Dr	催吐性リスク：軽度	最新登録日：2021年 8月

	薬剤名	投与方法	投与量	投与日	クール
	テセントリク	div	840mg/body	D1,15	4週間
	アブラキサン(nabPAC)		100mg/m <sup>2</sup>		
対象(適応癌種)	PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌				

## day1, 15(テセントリク+アブラキサン投与)

	薬品名【投与量】	投与方法	投与速度	標準投与量	計算量	投与日
Rp1	生食 50mL	div (ケモセーフ フィルター付 き)	500 mL/hr			D1,15
Rp2	テセントリク【840mg/body】 生食 250mL		500 (初回250) mL/hr			
Rp3	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp4	アロキシ 1A 生食 100mL	div (ケモセーフ)	250 mL/hr			
Rp5	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp6	アブラキサン【 mg/body】 生食 100mL ※生食100mLから必要量の懸濁用生食 を抜き取る。残った生食はすべて抜き取 り点滴バッグを空にする。 ※1バイアル(100mg)当たり生食20mLで 懸濁する。		( ) mL/hr (30分 かけて)	100mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp7	生食 50mL		500 mL/hr			

day8(アブラキサンのみ投与)

Rp1	デキサート 6.6mg(適宜増減) 生食 100mL	div (ケモセーフ)	250 mL/hr			D8
Rp2	生食 50mL		500 mL/hr			
Rp3	<b>アブラキサン【 mg/body】</b> 生食 100mL ※生食100mLから必要量の懸濁用生食を抜き取る。残った生食はすべて抜き取り点滴バッグを空にする。 ※1バイアル(100mg)当たり生食20mLで懸濁する。		( ) mL/hr (30分 かけて)	100 mg/m <sup>2</sup>	mg/body	
Rp4	生食 50mL		500 mL/hr			